

平成30年7月豪雨災害に係る第2回災害ボランティアバス参加者へのお知らせ（修正版）

ひょうごボランティアプラザは、平成30年7月豪雨災害による被災地支援として下記のとおり第2回目となる災害ボランティアバスを実施します。（朱字部分を修正しました。）

記

- 1 派遣期間：平成30年7月27日（金） 1日間
- 2 行き先：岡山県倉敷市の被災地（予定）
- 3 活動内容：被災家屋の泥出し、家具等の搬出・洗浄作業、傾聴等
- 4 集合時間等：神戸クリスタルタワー 1階南側入口近辺（ビルの中には入らないで下さい）

- 5 行程（予定）：

6時20分	集合
6時30分	出発
9時30分頃	活動開始
16時頃	活動終了、入浴
21時頃	解散（神戸クリスタルタワー）



【集合場所】

6 持ち物：

下記の持ち物を基本とし、各自熱中症対策に留意いただきご準備の上、活動して下さい。なお特に熱中症対策として十分な量のお茶・スポーツ飲料と塩飴等をご用意下さい。

(1) 活動に必要なもの

長袖、長ズボン、帽子、防塵マスク（楽に呼吸ができる弁付きタイプが好ましい）、長靴（踏み抜き防止の鉄板入りが好ましい。中敷タイプもあります）、ゴーグル、革手袋 ~~または厚手のゴム手袋（軍手不可）~~、ウェットティッシュ等

※ガラスの破片や釘等が散乱し、ホコリやチリがたくさん浮遊しています。また断水等のため水が使用できない場合があります ~~ません。~~

(2) 昼食等

昼食（事前に準備してから集合して下さい。活動場所で購入するお店等はありません。また炎天下で保管することになりますので各自保冷袋に入れる等、痛まないようにご留意下さい。） ~~、十分な量のお茶・スポーツ飲料と塩飴等（熱中症対策）~~

(3) その他

入浴の準備、着替え、タオル、ゴミ袋（個人のゴミ入れ）、雨がっぱ、保険証又は保険証のコピー、各自で必要とされるもの（常備薬、雨具など）

参考ホームページ

・倉敷市災害ボランティアセンター

https://peraichi.com/landing_pages/view/kuravol

・全社協被災地・災害ボランティア情報

<https://www.saigaivc.com/平成30年7月豪雨災害/>

7 参加にあたっての注意事項

- (1) ボランティアとして参加される場合、平成30年4月1日以降ボランティア保険に加入していない方は、前日までに最寄の社会福祉協議会にて加入手続きを行ってください（26日までの加入が難しい場合はプラザへご連絡下さい。）。
- (2) 大変暑い中での活動となります。参加者が自分自身で安全や健康を管理することを理解したうえで、ご参加ください。
- (3) 活動できる服装で集合して下さい。現地に更衣場所がありません。

災害ボランティアに行く前に

URL: <http://ameblo.jp/hyogo-vplaza/entry-10918930555.html>

- ① 野外での活動も含まれます。熱中症対策のため、水分補給などに十分ご留意下さい。
- ② 活動場所には、活動に必要な物品（水等の飲料・タオル等）と貴重品だけを持って行きます。活動がしやすい（両手が使える）ように、荷物はひとまとめにしてください。リュックサックかウエストポーチ等が便利です。
- ③ 現地ではグループでの活動となりますので、個人行動は控えていただき、スタッフやグループリーダーの指示に従ってください。兵庫県ボランティアということを意識し、マナーある行動と言葉づかいでボランティア活動をしていただきますようお願いいたします。

災害時のボランティア活動について

「社会福祉法人 全国社会福祉協議会 HPより抜粋」

災害救援ボランティア活動には大きな期待が寄せられますが、一方で、ボランティア活動が被災地の人々や他のボランティアの負担や迷惑にならないよう、ボランティア一人ひとりが自分自身の行動と安全に責任を持つ必要があります。

ここでは、災害救援ボランティア活動に参加する際の基本的な注意事項についてご案内します。災害救援ボランティア活動への参加の参考としてください。

災害救援ボランティア活動は、ボランティア本人の自発的な意思と責任により被災地での活動に参加・行動することが基本です。

被災地での活動は、危険がともなうことや重労働となる場合があります。安全や健康についてボランティアが自分自身で管理することであることを理解したうえで参加してください。体調が悪ければ、参加を中止することが肝心です。

水、食料、その他身の回りのものについてもボランティア自身が事前に用意し、携行のうえ被災地でのボランティア活動を開始してください。

被災地では、被災した方々の気持ちやプライバシーに十分配慮し、マナーある行動と言葉づかいでボランティア活動に参加してください。

被災地では、単独行動はできるだけ避けてください。組織的に活動することで、より大きな力となることができます。

自分にできる範囲の活動を行ってください。休憩を心がけましょう。無理な活動は、思わぬ事故につながり、かえって被災地の人々の負担となってしまいます。

備えとして、ボランティア活動保険に加入しましょう。